

令和 2年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	平林 晶
	全体計画						経費区分		-		内線	3254
事務事業名	4127 廃プラスチック再資源化事業											
所 属	121000 市民環境部・生活環境課											
施 策	03011200 循環型社会の形成と環境衛生施設の適切な管理											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	040105 衛生費・保健衛生費・環境衛生費										
	事業	040000 廃プラスチック再資源化事業										
事業目的						事業概要・効果						
廃プラスチック類容器包装、ペットボトル等のリサイクルの促進を図る。						廃プラスチック類容器及びペットボトルの選別、圧縮梱包処理を行い、資源化を図る。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
廃プラスチック類容器及びペットボトルの選別、圧縮梱包処理を行い、資源化を図る。 安全かつ安定した、プラスチック類容器の圧縮梱包処理を行うため、結束機の交換を実施した。	廃プラスチック類容器及びペットボトルの選別、圧縮梱包処理を行い、資源化を図る。 安全かつ安定した、ペットボトルの圧縮梱包処理を行うため、圧縮機のオーバーホールを実施する。
平成29年度 実績	平成30年度 実績
廃プラスチック類容器及びペットボトルの選別、圧縮梱包処理を行い、資源化を図る。	廃プラスチック類容器及びペットボトルの選別、圧縮梱包処理を行い、資源化を図る。
平成31年度 実績	令和 2年度 予定
廃プラスチック類容器及びペットボトルの選別、圧縮梱包処理を行い、資源化を図る。	廃プラスチック類容器及びペットボトルの選別、圧縮梱包処理を行い、資源化を図る。

指標名	可燃ごみ排出量の削減（市民一人当たりの年間排出量）						
算式						単位	kg
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標	201	200	199	198	197	
	実績	204	205	208	208		
指標選定の理由	総合計画の目標値						
最終年度目標の根拠	総合計画の目標値						
指標名							
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成31年度 決 算	令和 2年度 予 算
事業費		51,307	55,230
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	6,255	5,177
一般財源		45,052	50,053
人員数(人)	正規職員	0.7	1.4
	嘱託職員	0.3	0.3
	臨時職員	0.2	0.2
人員コスト	正規職員	5,085.5	10,171.0
	嘱託職員	848.7	848.7
	臨時職員	259.6	259.6
	計	6,193.8	11,279.3
市民一人当たりの経費		1.1	1.3
総額		57,500.8	66,509.3

(単位：千円)

平成31年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	5,704	修繕料5,704
13節 委託費	45,116	有価物処理委託料316、廃プラスチック収集委託料22,839、ストックヤード管理業委託料21,961
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	487	ペットボトル売却収入負担金487
その他	0	

(単位：千円)

令和 2年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	5,800	修繕料5,800
12節 委託費	48,980	有価物処理委託料380、廃プラスチック収集委託料24,100、ストックヤード管理業委託料24,500
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	450	ペットボトル売却収入負担金450
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	容器リサイクル法に基づき事業を実施	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	法に基づく処理を実施	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	搬出量に応じた手数料を徴収	

振り返り（決算年度の取組み課題）

容器リサイクル法に基づく処理を実施

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）	次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
廃プラスチックの再資源化を引き続き進め、併せてレジ袋の利用を減らし、マイバッグ利用の推進等を図るよう努める必要がある。		包装容器リサイクル法の改正により、レジ袋の有料化がスタートしたが、これを機に、広報周知を強化し、一層のリサイクル促進を図る必要がある。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	